



JEMAI

**カーボンフットプリント(CFP)
コミュニケーションプログラム
環境情報開示の動向と今後の展望**

CFPコミュニケーションプログラム事務局(社団法人産業環境管理協会)

Japan Environmental Management Association for Industry

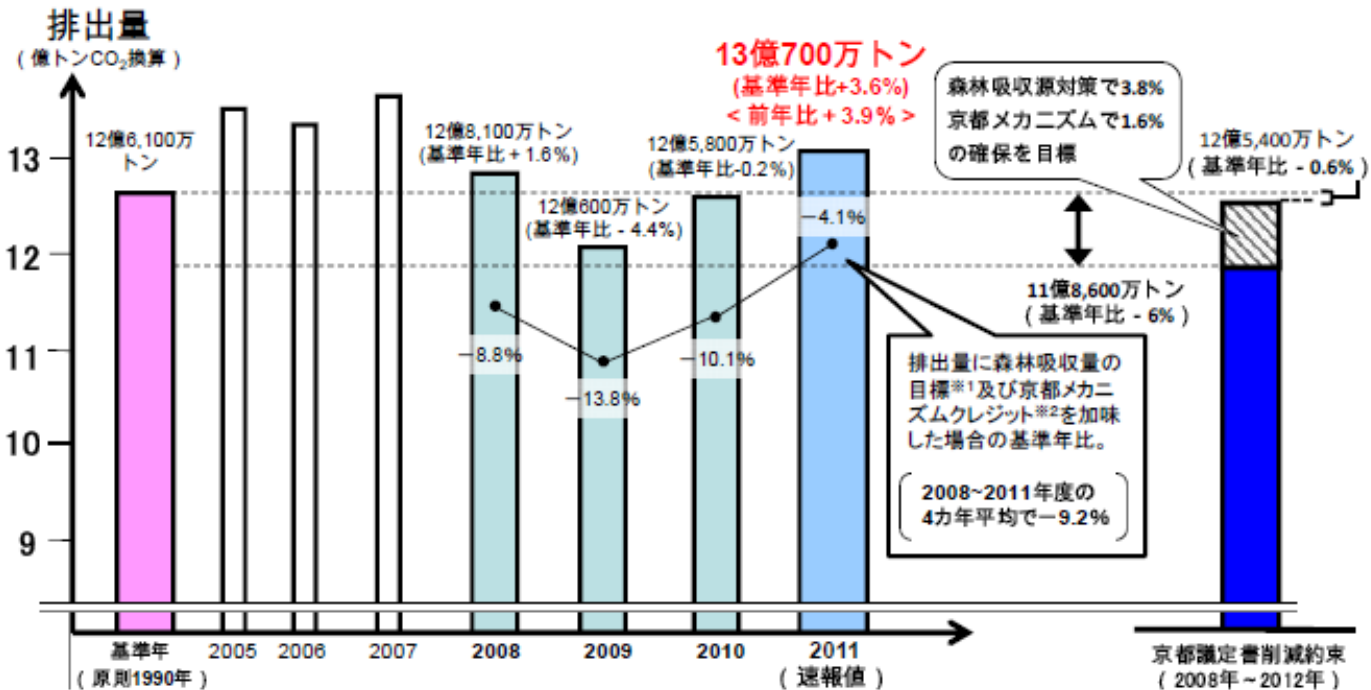
LCA事業推進センター 所長 壁谷武久



我が国の温室効果ガス排出量

我が国の温室効果ガス排出量

2011年度における我が国の排出量は、基準年比+3.6%、前年度比+3.9%
 森林吸収量の目標^{※1}と京都メカニズムクレジット^{※2}を加味すると、
 京都議定書第一約束期間の4カ年平均（2008～2011年度）で基準年比-9.2%



※1 森林吸収量の目標 京都議定書目標達成計画に掲げる基準年総排出量比約3.8%(4,767万トン/年)

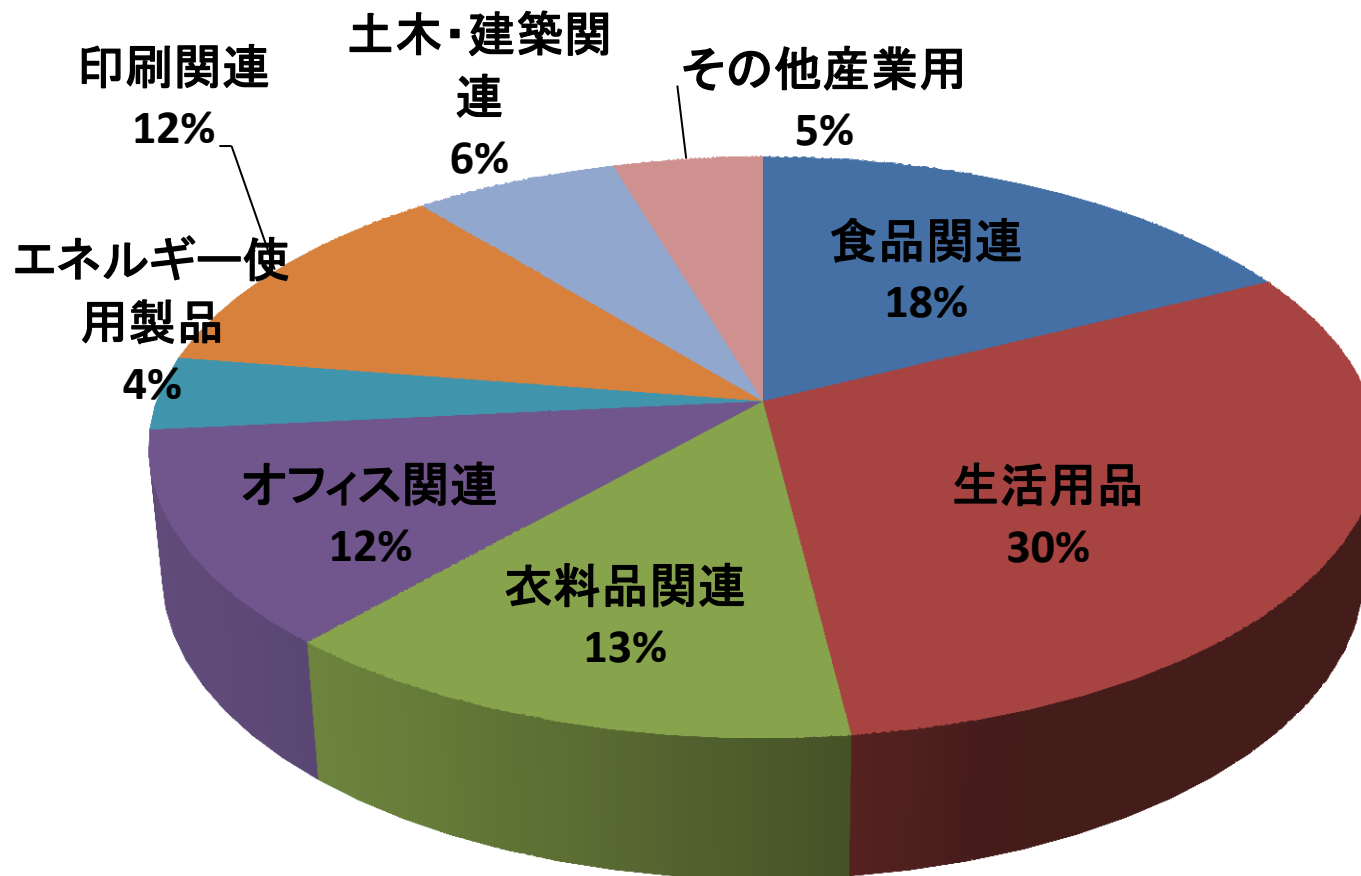
※2 京都メカニズムクレジット

政府取得 平成23年度までの京都メカニズムクレジット取得事業によるクレジットの総契約量(9,755.9万トン)を5か年で割った値
 民間取得 電気事業連合会のクレジット量(「電気事業における環境行動計画(2009年度版～2012年度版)」より)

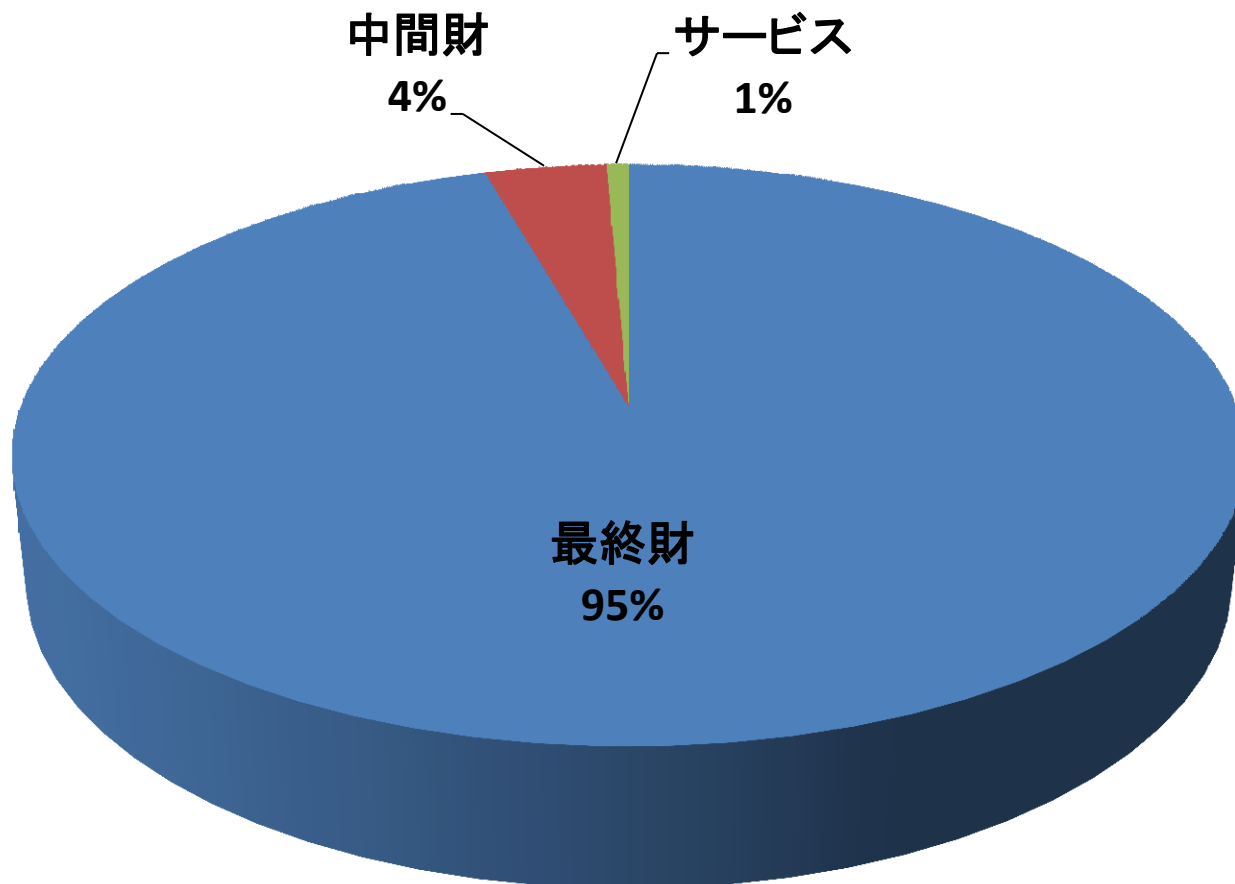
CFPプログラム運用状況(12月13日現在)

項 目	実 績
認定PCR数	81
CFP認定製品数	631
CFP参加企業数 (CFP認定製品を保有する社)	122
システム認証審査認定企業数	1

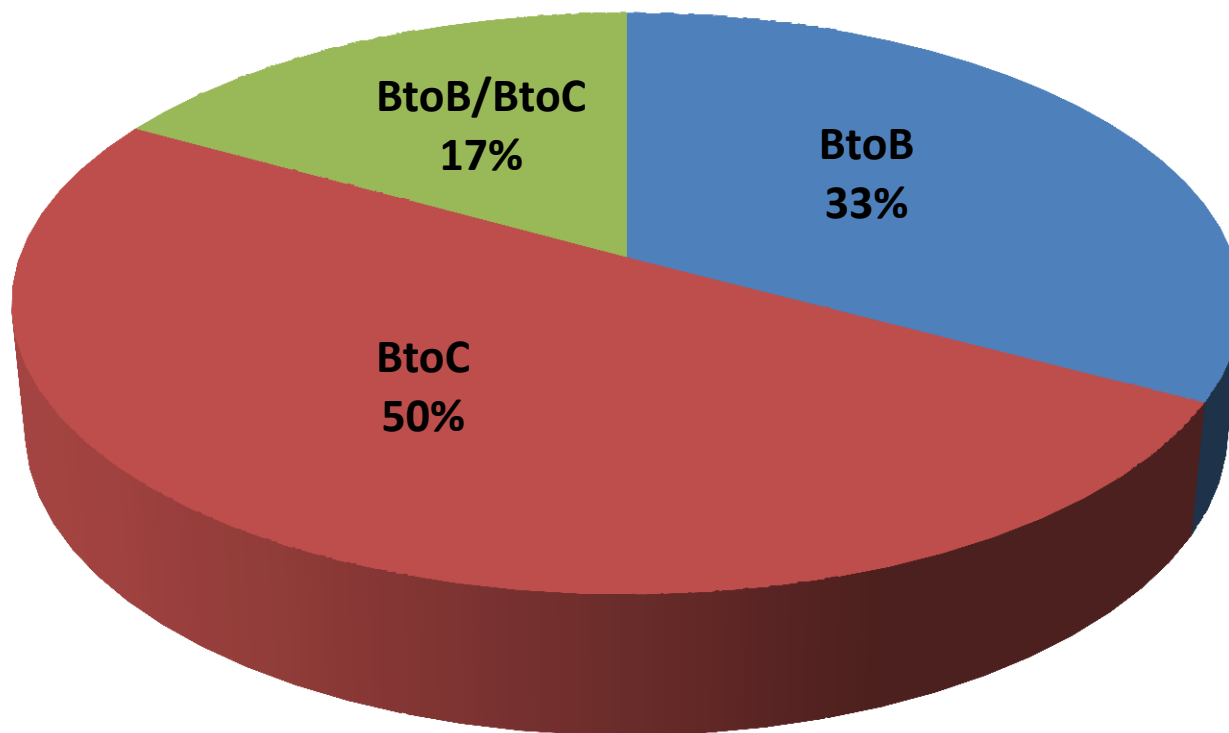
CFP認定製品の詳細情報－①製品分野別構成図



CFP認定製品の詳細情報－②最終/中間財別構成図



CFP認定製品の詳細情報－③BtoB/BtoC別構成図



新CFPプログラムでのCFP導入動向

- (1) 電気・電子製品におけるグローバル市場向け製品が増加
 - ・EPEATへの対応、欧州動向への対応、日本市場への環境プロモーション
 - (キヤノン(株)(複合機(9製品))、サムスン電子(株)(携帯情報通信機器(1製品))
- (2) 印刷業界がCFPを積極的に導入する動き
 - ・PCR『水なし印刷による印刷物』認定
 - ・日本WPAが印刷会社7社によるシリーズ代表値としてCFP認定製品取得
 - ・(株)リコーが自社ユーザーに無償でCFP算定・表示方法を指南
- (3) システム認証が始動
 - ・凸版印刷株式会社が印刷分野においてシステム認証第1号を取得
- (4) 試行事業からのCFPプログラム継続参加
 - ・システム認証登録者(イオン、トーソー、チクマ、三信化工、日本ハム)からのシステム認証に基づくCFP認定製品追加
 - ・新CFPプログラム参加事業者の約8割は試行事業からの継続



CFP認定のメリットは？

<認定取得の直接メリット>

1. ISO14067(国際規格)の発行(予定)

← ISO14000's(環境マネジメント規格)の一つとして2013年5月にISO14067(カーボンフットプリントコミュニケーション規格)が発行予定。これにより、国際規格に準拠した算定コミュニケーションとしてのアピール可能。

2. CFPマークの提供

← CFP認定製品には、登録・公開手続きによりCFPマークが提供され、その製品への貼付により、CFP認定製品として市場に出すことが可能。
(消費者等へのアピール)

← カーボンオフセット等との本格的な連携による削減訴求

3. 「CFP認定証書」の交付

← CFP認定の証である証書が発行されるため、環境報告書、製品カタログ、営業ツールとして活用可能。





CFP認定のメリットは？

＜海外諸制度等への適合性確保＞

- GHGプロトコル(SCOPE3等)への適用
- 新たな環境規制主体(EC:「環境フットプリント」等)へのプログラム及び実績の情報提供
- 各国グリーン購入型(米国EPEATなど)制度への適合性確保
- その他制度との直接的なネットワークの構築
(Ged-Net(タイプⅢ)、World PCF Summit、グローバルPCR、アジアネットワークの構築など)

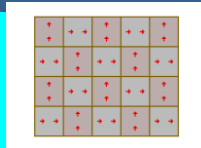


CFPは、何のためにどこで使う

世界市場における 「CO2見える化」宣言 “低炭素 製品によるグローバル市場戦略



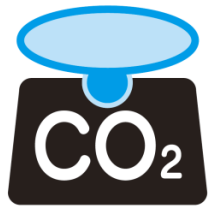
pixta.jp - 5465450



国内市場における 「CO2見える化」宣言

- ・ 世界に先駆けた低炭素製品づくり
- ・ 低炭素行動・生活の実現





CFPは、「つくる、つかう、すてる」 CO2見える化は削減実行の第一歩

CFP→水、資源枯
渇、生物多様性

CFPの全部
オフセット

CFPの一部
オフセット

CO2の削減努力
のアピール

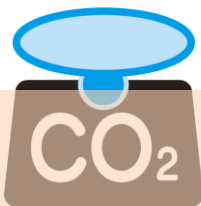


カーボンフット
プリントから始め
る地球環境保全

CFP削減貢献量
のアピール



環境情報開示を巡る国際動向



多様な環境側面の情報

仏

環境情報開示試行事業

スウェーデン
EPD

製品環境フットプリント)

EU

組織環境フットプリント)

ISO(国際規格)

JEMAI(日)

エコリーフ環境ラベル
CFPプログラム

140xx
組織のLCA

14067: CFP

14069
組織のGHG/M

14046: WFP

製品レベルの評価

組織レベルの評価

C.Trust社(英)
PASS2050

CFP(タイ)

CFP(台)

CFP(韓)

WRI/WBCSD

プロダクト基準

SCOPE3基準

GHGプロトコル

TSC(米)

GHG情報

✓日本企業の環境経営におけるコミュニケーションの多様な評価軸(環境側面の単一⇔複数指標、製品⇔組織の評価、国内市場⇔海外市場)において、**新CFP・エコリーフを包括的なツールに展開させることを目指す。**



環境情報コミュニケーション対応類型

- 企業格付け対応型 ← SCOPE3
- 政府によるグリーン調達型 ← EPEAT
- 規制型 ← EFP(環境フットプリント)
- 途上国対応型 ← アジア各国
- 企業内での製品改善推進型 ← LCA

日本は??

→ ○○、○型



目指すべき方向

「世界に通用する環境情報開示プログラム（仮称）」を目指す。

- ◇ エコリーフプログラムとCFPプログラムの統合・再編
 - － 「環境情報開示プログラム」の早期実現
- ◇ 国内外の諸制度に適合可能な弾力性のあるプログラム
 - － まずは、CFPから、そして世界へ
- ◇ 消費者コミュニケーションを重視したチャレンジ
 - － つくる人、つかう人、みんなで減らそうCO2
- ◇ 認知度向上！多様な環境プロモーション展開
 - － 関係機関との連携
- ◇ 政府の政策における利用ツール
 - － カーボンオフセット、グリーン購入法
- ◇ 運営組織の合理化と効率化によるコストダウンの実現

環境情報開示を巡る今後の展開

海外

国内

LCAの進化

- ・D/Bの整備、国際協調
- ・評価システムの構築
(精緻化、経済性、迅速性)

世界的な※環境規制の強化に対応して
グローバル市場における参入
障壁への予防的・能動的対応

グローバル市場

最終製品

消費者市場

企業 → 消費者

- ① 企業としての社会的貢献責任(CSR)の実行
- ② 環境情報コミュニケーション市場の創出
- ③ 環境経営への取り組み手法として環境アピール
- ④ 資源・エネルギー削減によるコストダウン

CFP算出ルール

バリューチェーン市場

企業 ← → 企業

- ① 環境配慮設計要求への対応
(CO2排出量情報、グリーン購入)
- ② エネルギー・環境戦略の見直し対応
- ③ CO2省資源・省エネ設計の促進による製品改善、コストダウン
- ③ 環境に対する企業格付け評価対応



企業 ← 消費者

- ① 環境配慮製品の購入
- ② 製品CO2削減行動への参加
(カーボンオフセット、環境家計簿、エコポイントへの参加等)
- ③ 環境に対する企業行動評価

国際規格

法規制、官公需、地域行動

ISO国際標準化への対応

部品・素材メーカー

企業 ← → 国、自治体

- ① 削減目標の達成(オフセット等)
- ② 購入(グリーン購入法、入札、条件等)
- ③ 環境規制の強化?(排出権取引制度の導入対応、

※ 本格的な環境配慮設計の導入
(将来スコープ)

総合的な環境負荷抑制

製品単位での温暖化ガス排出抑制

含有有害化学物質使用・管理規制
工場・オフィスの紙・ゴミ・電気の発生抑制

CFP + エコリーフ
(環境フットプリント型)
環境配慮設計製品

規制強化

1990 2000 2010 20XX

(作成:LCA事業推進センター KABEYA)



LCAを活用した環境情報コミュニケーションに関するお問い合わせ

- ・ LCA総合プログラムに関すること
(LCA研修、支援ソフト(MILCA)、コンサルティング、技術相談等)
- ・ LCAエキスパート検定試験に関すること
- ・ フォーラムに関すること

<関連サイト>

http://www.jemai.or.jp/JEMAI_DYNAMIC/data/current/detailobj-6252-attachment.pdf



LCA導入、海外動向等に関すること
 連絡先: LCA事業室
 TEL 03-5209-7708

御静聴ありがとうございました。



■ エコリーフ環境ラベル

<http://www.ecoleaf-jemai.jp/>

プログラムに関すること
 連絡先: エコデザイン事業室
 (エコリーフ、CFP)
 TEL 03-5209-7712

■ 新CFPプログラム情報サイト

<http://www.cfp-japan.jp/>



<https://twitter.com/cfpjapan>



<http://www.facebook.com/CFPCOMMUNITY>